(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 4月25日

和歌山県知事 様

提出者

住 所 大阪府大東市三箇4丁目17番3号 氏 名 大有建設株式会社 大阪支店 支店長 岡村 勝

電話番号 072-872-8001

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	大有建設株式会社 大阪支店
事	業場の所在地	大阪府大東市三箇4丁目17番3号
計	画 期 間	2023年4月1日~2024年3月31日
当該	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	①事業の種類	06 総合工事業
	②事業の規模	約15億(R4年度)
	③従 業 員 数	約20人(大阪支店)
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	がれき類(コンクリート破片、アスコン破片) →再生処理業者に委託して再生骨材として再資源化 建設混合廃棄物 →再生処理業者に委託して、分別・再生資源化

(日本工業規格 A列4番)

産業	 	理体制	に関する	事項		
	(管理体制図)					
		反支店				
	支店	長(廃棄物総括責任者				
		一 一 管理課 課長				
		一 営業所長				
		—————————————————————————————————————				
			工検討会	関西	地区担当職員	
			<u> </u>	- E		
		·————————————————————————————————————	轄工事別	「長		
産業	と と と と 度乗物の排出の抑制に	関する	事項			
		【前年	E度(I	R4 年度	度) 実績】	
		産業	廃棄物の	種類	がれき類	建設混合廃棄物
		排	出	量	0 t	0 t
	① 現状	(> h	までに	主施した	· ID>名目)	
	① 先扒				- 40/11/19 	上骨材に処理する。
		【目標	ŧ]			
		産業原	発棄物の	種類	がれき類	建設混合廃棄物
		排	出	量	1,000 t	20 t
	②計画	(今後実施する予定の取組)				
			己の取組			
産業	養廃棄物の分別に関する	事項				
産業	養廃棄物の分別に関する		.てい	ろ産業園	竪棄物の種類及び分別に関	型すろ 取組)
産業	養廃棄物の分別に関する ①現状	(分別			発棄物の種類及び分別に関 リート破片、アスコン破り	
産業		(分別				
産業		(分別 ・がれ	き類(コンクリ	リート破片、アスコン破片	†)に分離している。
産業	①現状	(分別 ・がれ (今後	にき類(i 	コンク! る予定 <i>0</i>	リート破片、アスコン破片 の産業廃棄物の種類及び5	†)に分離している。
産美		(分別 ・がれ (今後	にき類(i 	コンク! る予定 <i>0</i>	リート破片、アスコン破片	†)に分離している。

産業	検廃棄物の処理に係る管	理体制に関する事項	頁			
	(管理体制図)					
	大阪支店					
	支店長(廃棄物総括責任者					
	管理課 課長					
		施工検討会 [関西	地区担当職員		
		直轄工事所長				
産業	検廃棄物の排出の抑制に	関する事項				
		【前年度(R4	年月	度)実績】		
		産業廃棄物の種類	頁	木類	廃プラスチック	
		排出量	₽ E	0 t	0 t	
	② 現状	(これまでに実施	1.7	~取組)		
	4 先从			写生処理業者へ搬送し再生	上材に処理する。	
		 【目標】				
		産業廃棄物の種類	百	木類	廃プラスチック	
		排出	<u>E</u>	10 t	10 t	
	②計画	 (今後実施する予	定の	つ取組)		
		・上記の取組を維	持了	ける。		
李书	***					
生身	養廃棄物の分別に関する	学 快				
	O = 11.			客棄物の種類及び分別に り		
	①現状	・がれき類(コン 	クリ	リート破片、アスコン破片	†)に分離している。	
		(今後分別する予	定の	の産業廃棄物の種類及び分	分別に関する取組)	
	②計画			重類ごとに分別する。		

自	ら行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項				
		【前年度 (R4 年度) 実績】				
	① 現状	産業廃棄物の種類	_			
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	_	t	t	
	() 5th	(これまでに実施した	取組)			
		【目標】				
		産業廃棄物の種類	_			
	② 計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	_	t	t	
		(今後実施する予定の	取組)			
自	ら行う産業廃棄物の中間	処理に関する事項				
		【前年度(R4 年度)実績】				
		産業廃棄物の種類	_			
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	_	t	t	
	① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	_	t	t	
		(これまでに実施した	取組)			
		【目標】				
		産業廃棄物の種類	_			
	②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	_	t	t	
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	_	t	t	
		(今後実施する予定の	取組)			

自身	っ行う産業廃棄物の埋立	処分又は海洋投入処分	に関する事項	
		【前年度(R4 年	F度) 実績】	
		産業廃棄物の種類	_	
	① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	t
		(これまでに実施した	と取組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	_	
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
産業	業廃棄物の処理の委託に	(今後実施する予定の 関する事項) 取組)	
//	1400 = 2111 = 2111 = 1	P 4 7 .		
		【前任度 (D/ 4	F度)宝纬】	
			F度)実績 】	
		【前年度(R4 年 産業廃棄物の種類	F度)実績】 がれき類	混合廃棄物
				混合廃棄物 0 t
		産業廃棄物の種類	がれき類	
		産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への	がれき類 0 t	0 t
	① 現状	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への	がれき類 0 t	0 t
	① 現状	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への	がれき類 0 t 0 t	0 t 0 t
	① 現状	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者へ動 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量	がれき類 Ot Ot Ot Ot CTM組)	0 t 0 t 0 t
	① 現状	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託 型 再生利用委託 の 処理 番託 への 処理 番託 への 処理 番託 への 処理 委託 よくの 処理 委託 量 に対した。 (これまでに実施した)	がれき類 Ot Ot Ot Ot CTM組)	0 t 0 t 0 t
	① 現状	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託 型 再生利用委託 の 処理 番託 への 処理 番託 への 処理 番託 への 処理 委託 よくの 処理 委託 量 に対した。 (これまでに実施した)	がれき類 Ot Ot Ot Ot CTM組)	0 t 0 t 0 t

自	ら行う産業廃棄物の埋立	処分又は海洋投入処分	に関する事項			
	【前年度(R4 年度)実績】					
		産業廃棄物の種類	_			
	② 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	t		
		(これまでに実施した	こ取組)			
		【目標】				
		産業廃棄物の種類	_			
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	t		
- ** 2		(今後実施する予定の)取組)			
座 刻	業廃棄物の処理の委託に	. 関する事項				
		【前年度(R4 年	F度)実績 】			
		【前年度(R4 年 産業廃棄物の種類	F度)実績 】 木類	廃プラスチック		
			_	廃プラスチック 0 t		
		産業廃棄物の種類	木類			
		産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への	木類 0 t	0 t		
	② 現状	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量	木類 0 t 0 t	0 t		
	② 現状	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への	水類 0 t 0 t	0 t 0 t		
	② 現状	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者へ動 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量	木類 0 t 0 t 0 t 0 t 0 t こ取組)	0 t 0 t 0 t		
	② 現状	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託 型 再生利用委託 の 処理 番託 への 処理 番託 への 処理 番託 への 処理 委託 よくの 処理 委託 量 に対した。 (これまでに実施した)	木類 0 t 0 t 0 t 0 t 0 t こ取組)	0 t 0 t 0 t		
	② 現状	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託 型 再生利用委託 の 処理 番託 への 処理 番託 への 処理 番託 への 処理 委託 よくの 処理 委託 量 に対した。 (これまでに実施した)	木類 0 t 0 t 0 t 0 t 0 t こ取組)	0 t 0 t 0 t		

	【目標】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物			
	全処理委託量	1000 t	20 t			
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t			
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1000 t	20 t			
②計画	認定熱回収業者への 処理 委託 量	0 t	t			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t			
		へ委託し、最終処分量を	低減する。			
	産業廃棄物の種類	木類	廃プラスチック			
	全処理委託量	10 t	10 t			
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t			
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	10 t	10 t			
②計画	認定熱回収業者への 処理 委託 量	0 t	t			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t			
	(今後実施する予定の取組)					
	可能な限り再利用業者へ	へ委託し、最終処分量を	低減する。			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。